

新着案内 らい★ぶらい

～ 本のほんのいちぶ ～

大阪信愛学院図書館 No. 339(2018. 5. 25. 発行)

そうだ！図書館へ行こう

～ 地下書庫 ～

Q 探している本が地下書庫にあるんだけど、借りられない？

A 借りられます。古くなったり使われなくなった本や雑誌・新聞などを保管しているのが地下書庫です。残念ながら自由に入出入りはできませんが、読みたい本が地下書庫にある場合は、遠慮なくカウンターで申し出てください。すぐに地下から持ってきますので、予約する必要はありません。 少しでもカウンターでお待ちください。

こんな本が入りました

- ◇ 著者の後ろの（ ）内の数字とカタカナは請求記号というもので、本の背中についているラベルです。このラベルの順に並んでいます。
- ◇ 書名の前の☆は購入希望、*は先生からの購入希望です。

ここで紹介できるのは、入ってきた中のほんの一部です。ほかに入ってきた本も見に来てくださいね！

新着図書は1週間展示し、月曜日に入れ替えています。展示中の本は予約してください。



☆ CD(2階) ☆

- ☆ 『Westival』 ジャニーズ WEST
- ☆ 『あんさんぶるシスターズ！アルバムシリーズ 流星隊』
- ☆ 『÷ (ディバイド)』 エド・シーラン
- ☆ 『The Best of 防弾少年団』
『Face Yourself』 防弾少年団
- ☆ 『EPCOTIA』 News
- ☆ 『進撃の巨人 Season2 サントラ』

☆ 文庫(3階) ☆

- ☆ 『8.1 Game Land』『8.1 Horror Land』
『貴族と奴隷』 山田悠介著
- ☆ 『せんせい。』 重松清著
- ☆ 『小説サイドライン』
『あきない世傳金と銀⑤』 高田郁著
- 『蟻の菜園』 柚月裕子著
- 『文豪ストレイドッグス DEAD APPLE』
朝霧カフカ原作
- 『魔法科高校の劣等生 24』 佐島勤著
- 『Burn.』 加藤シゲアキ著
- 『何が困るかって』 坂木司著
- 『座敷童子の代理人⑥』 仁科裕貴著
- 『京都寺町三条のホームズ⑨』



- 望月麻衣著
- 『おなじ世界のどこかで』 藤野恵美著
- 『バナナの皮はなぜすべるのか？』
黒木夏美著

☆ 小説類(3階) ☆

- 『AX』 伊坂幸太郎著 (913.6||イサ)
「兜」は超一流の殺し屋だが、家では妻に頭が上がらない物騒な仕事をしていることは、もちろん家族には秘密だ。克巳が生まれた頃から、兜はこの仕事を辞めたいと考えていたが、それは簡単ではなかった。



- 『百年泥』 石井遊佳著 (913.6||イシ)
チェンナイで百年に一度の洪水。橋の下には猛烈な勢いで逆巻く川、橋の上にはそれを見学しに雲集したとてつもない人びとの群れ…。洪水の泥から百年の記憶が蘇る。

- 『星の子』 今村夏子著 (913.6||イマ)
大切な人が信じていることを、わたしは理解できるだろうか。

- 『ジャパン・トリップ』 岩城けい著 (913.6||イワ)
はじめまして、ニッポン。オーストラリアから日本にやってきた9人の子もたち。家族と離れての生活は、ワクワク・ドキドキ。(ときにイライラ)の連続で……。



- 『RDG 氷の靴ガラスの靴』 荻原規子著 (913.6||オギ)
最終巻、その後の物語



- ☆『坂の途中の家』 角田光代著 (913.6||カク)
社会を震撼させた虐待事件と〈家族〉であることの光と闇に迫る心理サスペンス。

- 『銀河鉄道の父』 門井慶喜著 (913.6||カド)
宮沢賢治はいかにして創造力豊かな作家になったのか。父、政次郎の視点から描く。

- 『少女戦記⑨』 カルロ・ゼン著 (913.6||カル)



- 『十代に共感する奴はみんな嘘つき』 最果タヒ著 (913.6||サイ)

- 『殺戮の天使②』 真田まこと原作；木爾チレン著 (913.6||サナ)
さあ、裁判を、始めよう！ 少女の罪を裁くため、狂気の魔女裁判が開廷した――

- 『騙し絵の牙』 塩田武士著 (913.6||シオ)
俳優・大泉洋を主人公に「あてがき」した新感覚小説！痛いほど圧倒的リアリティ、ウィットに富んだ会話の応酬！「小説のなか」で大泉洋が動く！



『青くて痛くて脆い』 住野よる著 (913.6||スミ)
僕たちは、あの頃なりたかった自分になれたのだろうか。



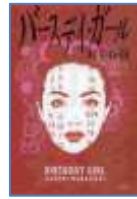
『わたし、男子校出身です。』
椿姫彩奈著 (916||ツバ)
厳格な家に期待の長男として生まれた著者。でも、物心ついた時から心は女の子だった。自分らしい生き方を手に入れるまでを赤裸々につづる。

『掟上今日子の色見本』 西尾維新著 (913.6||ニシ)
誘拐された忘却探偵。頭脳戦の結末は…。



『僕が殺した人と僕を殺した人』
東山彰良著 (913.6||ヒガ)
夏休みが終わる二日前、ぼくたちの人生はここから大きく狂いはじめたんだ。

『バースデイ・ガール』
村上春樹著 (913.6||ムラ)
一年に一度の「特別な非」に贈りたいあなた自身が答えを見つける物語



『ボクたちはみんな大人になれなかった』
燃え殻著 (913.6||モエ)
キミたちはみんな、もっと好きな人に、会えたのだろうか。

『太陽と乙女』 森見登美彦著 (914.6||モリ)
登美彦氏はかくもぐるぐるし続けてきた！ 影響を受けた本・映画から、京都や奈良のお気に入りスポット、まさかの富士登山体験談、小説の創作裏話まで、大ボリュームの全90篇。門外不出(!?)の秘蔵日記も大公開。寝る前のお供にも最適な、ファン必携の一冊。



『無職転生⑰』 理不尽な孫の手著 (913.6||リフ)

『おらおらでひとりいぐも』
若竹千佐子著 (913.6||ワカ)
74歳、ひとり暮らしの桃子さん。夫に死なれ、子どもとは疎遠。新たな「老いの境地」を描いた感動作！ 圧倒的自由！賑やかな孤独！



『負けないパティシエガール』
ジョン・パウアー著 (933||バ)
あまくはないけど心までとろけちゃうおいしい物語

『オリジン 上・下』 ダン・ブラウン著 (933||ブ)
ダ・ヴィンチ・コードを超える興奮がここに！ スペインのビルバオ、マドリード、セベリア、バルセロナを舞台に、ラングドンの前に最強の敵が立ちはだかる！

『もうひとつの<夜と霧>』
ヴィクトール・E・フランクル著 (942||フ)
同じ過ちを繰り返してはならない。フランクルの遺した創作劇。

『いのちは贈りもの』
フランシーヌ・クリストフ著 (956||ク)
ホロコーストを生きのびて。読書感想文課題図書



☆ 小説類以外(3・4・5階) ☆

『本の本』 夢眠ねむ著 (024.1||ユ)
出版業界のプロフェッショナルを取材した体験ルポ。この一冊が、あなたの手に届くまで。

『女に生まれてよかった。と心から思える本』
水島広子著 (159.6||ミ)
「…しなきゃ」を手放し、自分を好きになれる心のレッスン



『座敷わらしに好かれる部屋、貧乏神が取りつく部屋』
伊藤勇司著 (159||イ)
「不幸グセ」は部屋に出る。



『ギリシア人の物語①～③』
塩野七生著 (231||シ)
『ローマ人の物語』へつながる三部作

『学校では教えてくれない差別と排除の話』
安田浩一著 (316.81||ヤ、4階人權)
自分がされてイヤなことは、他人にしない。こんな簡単なことが、なぜできないのでしょうか。

『平和をつくるを仕事にする』
鬼丸昌也著 (319.8||オ)
世界は変えられると信じて一歩を踏み出そう。

『「国境なき医師団」を見に行く』
いとうせいこう著 (329.36||イ)
日本の小説家がとらえた、世界の<リアル>と人間の<希望>



『「対人不安」って何だろう?』
榎本博明著 (361.4||エ)
友だちといっしょにいてもホンネを出せない自分がいる。嫌われることを恐れ、気づかずに消耗している。そこにはどんな心理メカニズムがあるのだろうか。

『くらべる世界』 おかべたかし文；
山出高士写真 (361.5||オ)
日本の当たり前が、世界ではこんなに違う。



『生物学の基礎はことわざにあり』
杉本正信著 (460||ス)
ことわざや成句を入口に、生物学の基礎を楽しく学びましょう。

『驚異の未来生物』 マルク・ブレー、
セバスティアン・ステイエ著 (467.5||ブ)
人類が消えた1000万年後の世界

『10万個の子宮』 村中璃子著 (495.43||ム)
あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか。

『ロボットが家にやってきたら…』
遠藤薫著 (548.3||エ)
ふと気がつくとき身の回りにはロボットやAIが…。これからの人とロボットの関係を考えます。



『車いす犬ラッキー』
小林照幸著 (645.6||コ)
安楽死なんてさせなくてよかった。読書感想文課題図書

『美尻トレ』 岡部友著 (780.7||オ)
筋トレだけでは女性らしさは生まれません。

『#腹筋女子』 山崎麻央監修 (780.7||フ)
体が変わるって楽しい。



『金栗四三』 佐山和夫著 (782.3||サ)
1912年ストックホルム・オリンピック。この大会でマラソンにエントリーした金栗四三選手は、レースの途中で姿を消してしまう。現地ではそのとき何があったのか。

『本当は怖い日本のことわざ』
出口汪監修 (814.4||ホ)
日本語に秘められた呪いと悪意の数々



『文学効能事典』
エラ・バーサド、スーザン・エルダキン著 (902.3||バ)
小説で愉しむ「病」と「悩み」の処方箋

☆ マンガ(3階) ☆



『ぼくの素晴らしい人生①②』
愛本みずほ著
『ちはやふる 37巻』 末次由紀著